



関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	基礎情報処理論Ⅰ、基礎情報処理論Ⅱ、プログラミング論ⅠA、プログラミング演習ⅠA
教科書	「Javaバイブルシリーズ Java入門 Java 7版」瀬戸雅彦著（SCC）
補助教材等	Webで補足資料を提示する。
学習上の留意点	
<p>情報システム全般の知識が必要である。            重要な事項について練習問題を課す。練習問題を解くことで、自身の理解度を把握する。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>プログラムを丸暗記するのではなく、処理の仕組みを理解することが重要である。            Java言語のリファレンスマニュアルを読み解くことが理解の手助けとなる。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 授業の目的と意義	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。	第1回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
2	制御文(複数の分岐)	・複数の制御文(複数の分岐)を組み合わせたプログラムを作成できる。	第2回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
3	制御文(複数の反復)	・複数の制御文(複数の反復)を組み合わせたプログラムを作成できる。	第3回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
4	制御文(分岐と反復)	・分岐と反復を組み合わせたプログラムを作成できる。	第4回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
5	1次元配列	・1次元配列を用いたプログラムを作成できる。	第5回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
6	2次元配列	・2次元配列を用いたプログラムを作成できる。	第6回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
7	基本的なアルゴリズム	・並べ替えなどの基本的なアルゴリズムを用いたプログラムを作成できる。	第7回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
8	擬似言語	・擬似言語を記述できる。	第8回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
9	ビット処理	・ビット処理に関するプログラムを作成できる。	第9回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
10	メソッド	・メソッドに関するプログラムを作成できる。	第10回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
11	ストリーム入出力	・ストリーム入出力に関するプログラムを作成できる。	第11回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
12	ファイル入出力	・ファイル入出力に関するプログラムを作成できる。	第12回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
13	課題演習(1)	・与えられた仕様に従ってプログラムを作成できる。	第13回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
14	課題演習(2)	・与えられた仕様に従ってプログラムを作成できる。	第14回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
15	課題演習(3)	・作成したプログラムの内容を報告書として記述できる。	
総授業時間数			30時間